

リンゴ「ふじ」の弱小花芽せん定は 摘果作業時間を短縮できる

福島県農業総合センター 果樹研究所栽培科

1 部門名

果樹—その他—収穫

2 担当者

小野勇治・額田光彦・桑名篤・安達義輝・増子俊明

3 要旨

リンゴの冬季せん定時の花芽整理の一つである弱小花芽せん定(頂花芽果台から発生した新梢(10cm以下)の弱小花芽の除去)は、予備摘果の作業時間を短縮するとともに、優良な短果枝由来の花芽が形成できる。また、冬季のせん定時に行うため、春の忙しい時期である摘果作業時の労力を軽減できる。

(1)弱小花芽せん定は、総頂芽数が増加し、短果枝果そうにおける優良花芽数が増加した(表1)。

(2)弱小花芽せん定区は無処理区と比較して、1樹当たりの予備摘果の作業時間が3割短縮した。



図1 弱小花芽せん定と翌年の花芽の状態

表1 頂花芽の果台由来新梢(10cm以下)の弱小花芽のせん定が翌年の花芽着生に及ぼす影響

	総頂芽数 (個)	優良花芽数 (個)
弱小花芽せん定処理	2.4	1.6
無処理	1.2	0.7
t検定	**	**

注)表中データは、調査果そう当たりの個数

注)短果枝で大きい花芽を優良花芽としその個数を調査した

注)表中の**はt検定により1%水準で有意差あり

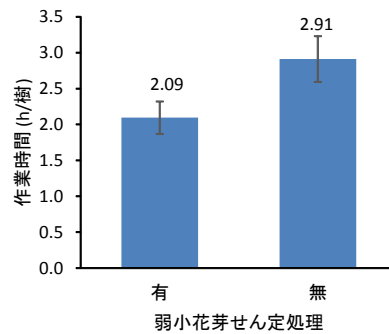


図2 弱小花芽せん定処理の有無と予備摘果の作業時間の比較

4 成果を得た課題名

(1) 研究期間 平成20年度～平成28年

(2) 研究課題名 平成20年度～27年度「リンゴの低樹高化による省力・高生産栽培技術の確立」、平成28年度「各地域に適したリンゴ早期成園化技術の実証」

(3) 参考となる成果の区分 (指導参考)

5 主な参考文献・資料

(1) 平成26年度参考となる成果 リンゴの花芽整理と翌年の花芽着生

(活用した事業名:農林水産省 革新的技術開発・緊急展開事業(うち地域戦略プロジェクト))